

お知らせ

チャリティ講演会 開かれる



四月十七日に村民会館で、村役場職員組合主催のチャリティ講演会が開かれました。
テレビの司会者や俳優などで活躍のはかま満緒氏を迎え、「笑う門に健康来る」と題した講演に五十人余りが集まりました。テーマのよ

うに終始、参加者をほほえまし、機転とユーモアを交えた講演が九〇分間にわたり続きました。
この会の収益金は、二、四八四円は、村の社会福祉協議会に寄附されました。

第一回 村民バドミントン 大会結果



(三月二十八日、山古志中学校体育館)
小学生男子(ダブルス)
一位 榊澤勝晃・榊澤大輔
二位 田中三史・五十嵐将俊
三位 佐藤孝志・小川真一
小学生女子(ダブルス)
一位 佐藤若菜・坂牧梓香

二位 若槻佳美・佐藤茜
三位 小川瑠衣・坂牧絵理香
一般(ダブルス)
一位 長島大輔・田中哲
二位 川上清吉・五十嵐隆一
三位 松田恵・長島美和子

普及所から 農改コーナー

水田除草剤の使用法

現在、数多くの種類の除草剤が販売されています。それぞれ特徴がありますので、その特性を生かした使用法が必要です。

- 一、除草剤の分類
主にノヒエに対する効果や使用方法で分類します。
(1)初期除草剤
ノヒエが1〜1.5葉の大ききまで効果を示す。
一般的に田植直後から、週間位の間に散布する。
代かきから田植までの期間が、週間以上ある場合は、その間に雑草が大きくなるので代かきから田植までの4日前までに散布する方法もあります。
(2)中間除草剤
ノヒエが2.5〜3.5葉の大ききまで効果を示す。
初期剤を散布した場合は、その

の効果が残っている場合があるのでよく確認すること。
(3)後期除草剤
ウリカワなどの特殊雑草を対象に使用する。薬剤の種類により対象雑草が異なる。
(4)発処理剤
適期に一回散布するだけで雑草防除を行なう薬剤。たいへん省力的だが、雑草の発生に同じ中期・後期除草剤を併用する必要がある。
二、使用上の注意
(1)散布後は3〜4日間、水深を3〜4cmに保つ。
(2)漏水のはげしい水田では、使用しない。
(3)むらにならないように均一に散布する。
(4)同水系に養魚池がある場合は十分注意する。
(三)古農業改良普及所

税のプロムナード

受話器は
なんでも博士

最近、携帯電話が人気をよんでいます。平成二年の契約台数は前年に比べ約二倍の十五万台にも達しました。その理由は携帯電話が手軽に持ち運べてオシャレというだけでなく、電話が情報化時代の



最先端を走っているということが挙げられるようです。
以前は電話での情報といえば、天気予報や時刻ぐらいでしたが、今ではクイズからニュースまでダイヤルするだけですぐにサービスを受けることができます。税金の相談だって電話があればOK!
これは、知りたい税金の項目コード番号をダイヤルするだけ(ラッシュホン式ではボタンを押すだけ)で解説が聞けるタックスアサシ。
ナウなあなたは、もう何度かお使いですすね。
〈私たちの税金より〉

美容店の定休日 が変更になりました!

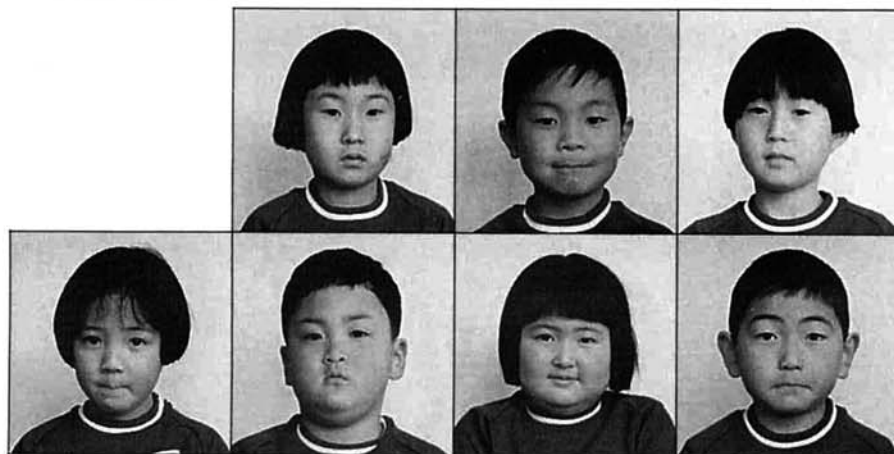
この春から村内の美容店の定休日が変わりました。
毎月、第一月曜日と第三日曜日が定休日となります。
(山古志村美容組合)

今春の新1年生 22名せいぞろい

この春、心をときめかし、びかびかのランドセルを背負って、小学校に入学した「新1年生」男子

十二名、女子十一名のみなさんです。

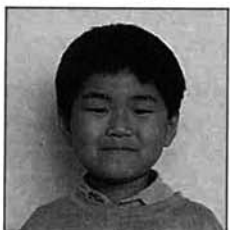
種彦原小学校



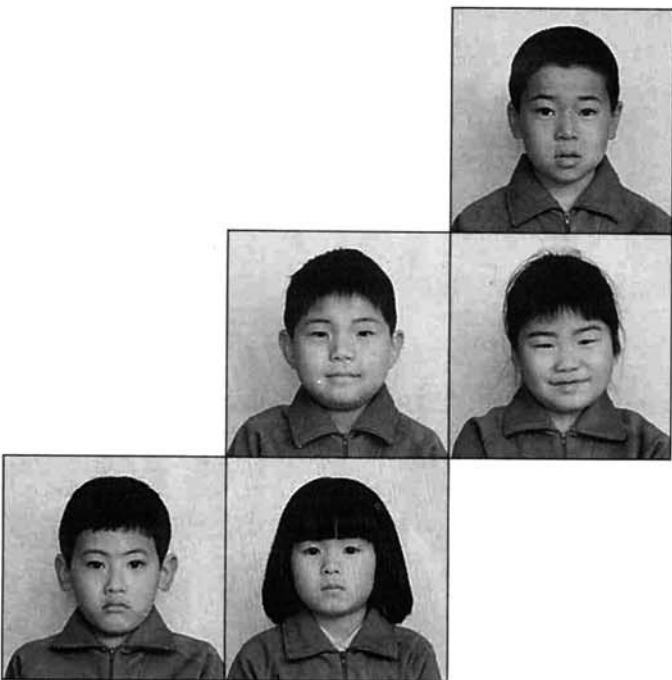
池谷小学校



東竹沢小学校



竹沢小学校



人口の動き
(5.3.31現在)

■人口 2,797人(-22) 男 1,406・女 1,391 ■世帯数 778(-3)
■3月中のうごき □出生4 □死亡2 □転入10 □転出16

平成5年→12年

快適な環境づくりで

ひらく21世紀の山古志

総合計画を策定

この子たちが成人するころ村は…… (平成12年に20歳になる) 中学1年生



「将来を展望し、村の発展方向を定める」総合計画ができました。二月に総合計画審議会より答申をいただき、三月の村議会定例会で議決されました。昭和五十八年に六十五年(平成二年)までの総合計画を策定し施策を推進してきましたが、その間社会情勢も大きく変わり今日に至っています。このたび第三次総合計画として、平成五年から十二年を目標として策定しました。この計画は、テーマを「快適な環境づくりでひらく二十一世紀の山古志」と設定し、そのためにはどのような施策を行うのかを定めたものです。そして具体的な事業の実施については、この施策に沿って、毎年向こう三か年の事業計画を立てて行います。計画の内容を紹介しますが、みなさんからご理解とご協力をお願いします。

十二年の村の人口は 一、四四〇人と予測

人口、世帯数の予測

Table with 5 columns: 区分, 平2年, 平7年, 平12年, 構成比. Rows include 総人口, 0-14歳, 15-64歳, 65歳以上, 世帯数.

計画では目標年次の平成十二年には、村の人口は、四四〇人になるものと予測しました。平成二年より(国勢調査ベース)十一年間で四〇〇人余りの減少となりま

今後は、交通体系の整備や生活環境などの整備で若者の定住が進み、安定した人口構成になることを期待したい。

暮らしを支える

快適な環境整備

雪に強い道路を 簡易水道を整備

〈土地利用〉 関連法令の適切な運用に努め、土地の有効利用、高度利用を促進する。また、同上調査法に基づく地籍調査を促進し、地籍の明確化及び課税の公平化を図ります。

〈道路整備〉

通勤圏の拡大や日常生活の経済活動が広域化している今日、冬期間の交通確保があらゆる面で重要な課題となっている。

村の大動脈といえる国・県道についてはさらに、道路改良の促進を図る関係機関に積極的に要望します。

村道は、住民の生活道路であり、冬期の除雪計画を考慮し、利便性を重視した集落内の道路整備を進めます。

〈バス〉

唯一の公共交通機関であるバスは、通勤通学など日常生活に重要な機能を果たしている。このため道路整備に合わせ路線延長や運行回

数など関係機関と協議し、利用者の利便を図ります。

〈簡易水道〉

虫亀地区簡易水道は引き続き進め、早期供用を目指す。他地区については、芋川筋の小規模生活タームを水源とする簡易水道計画を早急に促進し、村全域の水道化を図り、住民の生活の向上に努めます。

高齢化に応じた

福祉と保健医療の充実

保育所の統合 福祉センター建設

〈保健〉

村民一人一人の健康づくりの意識向上に努め、成人病予防を中心とした、各ライフステージに応じた健康づくりの推進を図る。また、在宅療養者の支援体制を強化する。

〈福祉〉

地域福祉、在宅福祉を基盤とする福祉活動を進めるため、福祉思想の啓発とボランティア意識の高揚を図り、住民・体の地域福祉を推進します。

児童福祉の理念に基づき、心身ともに健やかな児童を育成するため、保育所の統合を図り、保育機能を強化します。人口の高齢化が急速に進展するなか、ねたきりや痴呆性により介

護者が急増すると予想される。これらに対応した在宅福祉サービス制度の普及を図るとともに、デイサービス機能を備えた「高齢者生活福祉センター」を建設します。

また、老人が生がいをもち、豊かな知識と経験を生かした社会参加を進め、この拠点となる「老人福祉センター」を建設します。

〈医療〉

村民の健康づくりから在宅ケアまでを担えるゆとりある、次医療体制を整備すると共に、一次医療救急医療との連携に努め、よりよい医療を推進する。また、眼科等特定診療科の定期巡回診療を早期に実現する。

創造力と国際性に

富む人づくり

総合体育館建設

〈義務教育〉

小学校は、複式授業に対応した地域指導計画「山古志プラン」を全教科にわたり作成し、実践に努めるが、学校・学級の適性化を図るため、学区民と話し合いを図りながら統合を進めます。

〈生涯学習等〉

生涯各期の課題に応じた学習プログラムを作成し、学習需要に応じた学級・講座等を開設する。

芸術・文化活動グループを育成し、創作や観賞、発表会などの活動を活発にする。

民俗資料館を建設し、資料の収集・保存に努め、内容の充実を図ります。

〈生涯スポーツ〉

子どもから高齢者まで、その年齢や体力に応じて楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

〈総合体育館を建設する。〉

〈各種スポーツ教室やレクリエーション講習会を行う。〉

◎スポーツクラブ、同好会、少年団等の育成、強化を図ります。

〈人材育成〉

地域づくりは人づくりからという考えから、国際化や高齢化に対応した国際感覚豊かな人材や地域の活性化の中核となる人材の育成に努めます。

地域の特性を生かした産業の振興

四季の里を整備

〈農業〉

茸茸牧場を中心とした畜産基盤の充実し、複合経営の安定と中核農家の育成を図ります。農村総合整備・農業集落排水施

設整備事業等の導入を図り、生活環境の整備を行う。農村の景観美や、観光農園等の設置により、都市との交流を図り、若者の定住化、後継者、配偶者対策を積極的に推進する。

〈錦鯉〉

原産地の優位性と積み重ねてきた養殖技術を生かして、優秀な親鯉を確保するとともにブランド品種の産出を図り、市場開拓に努める。

〈観光の振興〉

自然環境を背景とした自然休養地「四季の里古志」の施設整備を進めるとともに、既存の観光資源の充実や開発を行い、多様な観光レクリエーション需要に応える。

行政運営の効率化

行政懇談会を開催

〈住民参加の推進〉

積極的な住民参加を推進するため、行政懇談会を開催し、村民との対話を図ります。

〈行政・財政運営の合理化〉

行政に対する需要は多様化し、事務も増大している。今後も、事務事業の見直しや組織機構の合理化を進め住民サービスの向上を図る。また、重点施策の選択を図り、創意工夫のある効率的な財政運営を推進します。

議長に樺澤三治郎さん 副議長に青木幸七さん

改選後、初の村議会臨時会が四月二日に開かれ、議長、副議長等の選出が行われました。
新議長に樺澤三治郎さん(種芋原、三期、四四歳)、副議長に青木幸七さん(池谷、二期、五六歳)が選ばれました。



樺澤三治郎さん



青木幸七さん

教育長に 佐藤誠一さん



四月に開かれた村教育委員会では、教育長に前総務課長の佐藤誠一さん(竹沢、五八歳)が互選されま

した。
佐藤さんは、山古志村役場税務課長・議会事務局長・総務課長として水年勤められ、この三月に退職されています。
また、四月二日に開かれた村議会臨時会で教育委員の任命が同意されています。

佐藤教育長は「教育をとりまく環境はますます多様化し、学校五日制や生涯教育の対応、小学校の複式学級のあり方など、村民の皆さんと共に考えていきたい」と就任の抱負を語っていました。

教職員の異動

この春、村内の教職員の人事異動が発令されました。
新しい先生方よろしくお願います。

新任の校長先生

種芋原小学校



阿部哲校長

池谷小学校



阿部文夫校長

竹沢小学校



小島一則校長

東竹沢小学校



相沢邦夫校長

山古志中学校



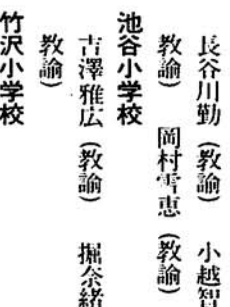
熊木勉校長

種芋原小学校



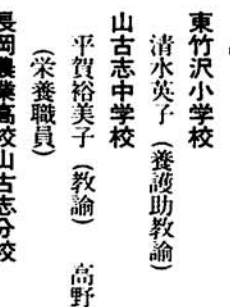
荻沢厚子校長

池谷小学校



小越智教校長

東竹沢小学校



高野則子校長

小・中学校 いっせいに入学式



暖かな日差しが注いだ四月五日、村内の小・中学校でいっせいに入学式が行われました。
今年の新入生は、小学校三名、中学校、五名です。

種芋原小学校では、さくら草の花が添えられた体育館で入学式が行われました。新しい服を着て少し緊張さみの新入生は、四、五名のお兄さん、お姉さんが拍手で迎える中を胸を張って元気に登場。人ずつ名前を呼ばれて「ハイッ」と大きな声で答えていました。
阿部校長先生と三つの約束が結ばれ、できますかと問われると「はい」と答えていました。

在校生を代表し、坂牧賢吾くんは「文化祭や収穫祭、そして運動会など楽しい行事がたくさんあります。楽しみにしています。どうぞ」と歓迎の言葉を述べていました。

平成5年度 特別会計の 予算概要

平成五年度山古志村特別会計当初予算の概要をお知らせします。

国民健康保険

歳入歳出それぞれ、億九、五〇〇万円と定め、前年度より、五〇〇万円、一・四%減となりました。

減額の理由は、本年度から人件費を一般会計予算に計上したのをはじめ、老人保健拠出金や基金積立金の減額によるものです。
保険給付費は、前年並の一億四、〇〇〇万円を計上しました。また、疾病予防については、一人一人ドックの助成として、一、八〇〇万円、八〇人分、二、〇〇〇万円を計上したほか、好評の村民カレンダーも引き続き作成します。

これらに対する収入は、国庫支出金九、五八七万円、保険料五、六三三万円、療養給付費交付金七、八〇〇万円、一般会計から九七七万円を繰入れて行います。

診療所

歳入歳出それぞれ、前年度並の億、〇〇〇万円と定められました。医療費は、前年度より、九三万円増の六、九〇万円を計上し、歳出総額の五〇・五%を占めています。このうち医薬品・衛生材料購入費は五、六六〇万円、外来収入は五、%となっています。

これに対する歳入は診療収入を前年比三五〇万円、三・三%増の億、九七三万円を計上しました。また、歳入に占める割合は九八・%となります。そのほか、財産収入九六六万円、基金繰入金九〇万円などを見込みました。

歯科診療所

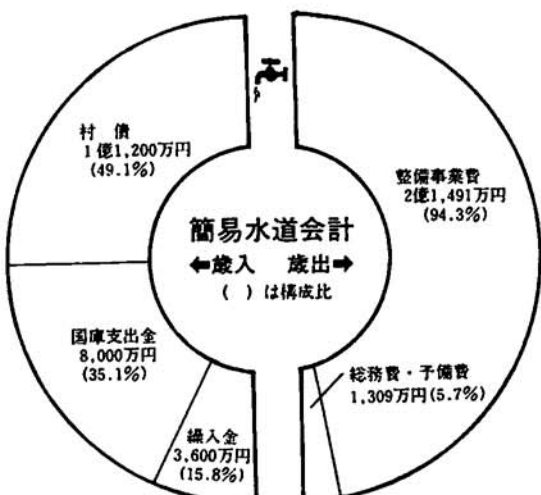
歳入歳出それぞれ、三、〇〇〇万円と定められました。これは医療費や人件費の伸びにより、前年比、一、〇〇〇万円、六・七%の増となりました。本年度も、ねたきり老人対象の

老人保健

訪問診療や総合建診時に歯科検診も合わせて行います。
これに対する歳入は、診療収入を全体の六二・九%に当てる二、〇九五万円を見込んだほか、一般会計から、一、五五〇万円を繰入れて行います。

簡易水道事業

歳入歳出それぞれ、億、八〇〇万円と定められました。
虫亀地区は、二年目に入り、工事は本年度から集落内での施行となります。減菌設備、電気計装設備、配水池築造、配水管伏設工事などを行います。これらの事業費に、億、四九二万円を計上しました。
このようなことから予算額は、前年比四、〇〇〇万円、二一・三%の増となりました。
これに対する歳入は、村債一億、〇〇〇万円、国庫支出金八、〇〇〇万円を見込み、一般会計から、五九七万円を繰入れて行います。



蓮平駐在所に 坂井 豊栄さん



今まで蓮平駐在所に勤務されていた今井昭さんが転勤となり、新しい駐在所として巡査部長の坂井豊栄さん(三七歳)が来られました。

坂井さんは新潟中央署からの転勤で、生まれは新潟市内です。家族は奥さんのルミ子さんと二人です。初任の駐在所勤務と、今は前に勤務した十日町署で体験ずみとのこと。地区の人から山菜取りに誘われ、楽しみにしていますと語っていました。
山古志村の虫亀地区が担当です。駐在所に協力ください。





佐弥果ちゃん

平成3年2月26日生まれ 星野要一・幸美子さん(2女)
—竹 沢—

今春姉ちゃんと一緒に保育所へ入り、毎朝1時間くらい前から用意し楽しみにしている毎日です。近所に友達がいないので保育所の先生や姉ちゃんたちに可愛いがってもらってます。おしゃべりが達者で負けず嫌いのやんちゃ娘のさやかです!

わが家の

スター



第一回 スキーサーキット

チャンピオンは 村外へ

四月四日、第一回KOSHINA イタースキーサーキットの最終戦が、古志高原スキー場で行われ、今シーズンのチャンピオンがそれぞれ誕生しました。

アルペン競技で競い合い、一位三〇点、二位二五点と五位まで一戦ごとにポイントが与えられ、三戦の総合ポイントでチャンピオンが決まります。

この大会には、延べ一六〇人が出場。初代のチャンピオンは、い

ずれも村外の人に、スキーの板など豪華賞品が副賞として贈られていました。

- 栄子
- 一般男子
- 新保崇浩
- 伴雅史
- 吉田武史
- 星野辰也
- 滝沢英明
- 星野元喜
- 一般女子
- 吉田きわ子
- 倉沢純子

第5回 四季の山古志写真コンテスト 入賞作品



県観光協会賞 池上げ

内田 政雄さん (長岡市宮内)



12、3年前に初めて、山古志村で池上げの写真を書いたのが初めてで、その後は、5年前から村の写真を書き始めています。村の人達から色々情報を頂き、挑戦中です。この写真はグループの撮影会の時のワンショットです。



よき相談相手

行政相談員に 畔上守二さん



四月一日付で畔上守二さん(橋本、六四歳、五九一―六五八)が総務庁長官から行政相談員に委嘱されました。

「自分らしく、あせらずマイペースで住民と接したい」

早いもので私が山古志村に足を踏み入れてから四年目になります。この季節になると思い出すのは平

の良き相談相手となって、解決のため努力していただくことになっています。

成二年三月三十日のこと。四月一日付の採用だったので前日は中学の教員住宅で過ごしました。先生方は春休みだったので泊まる人もなく、誰も知らない音もない。人ほっちの教員住宅はなんともいえないさみしさがありました。

健康「ラム」

ふりかえてみると、人体制だった保健婦が私が入ることで、人ととなり、数からみると人口は八

しかし就職してみるとやはり、地形・豪雪・老人問題と他市町村では考えられない山古志村の問題がみえてきました。そのため、人体制では、必要最低限の事業を展開するのには、精一杯で活動の範囲がはらわれているに気がしました。だからといって私も断念せず、気付いてもすぐには実践に移れません。周りからは「人になったのだから」と期待され、プレッシャーを感じたことも時にはありました。しかし多くの人に励まされてやっとここまで来ることができました。

二人体制でやってきたことは、機能訓練事業(にこにこ会)、保健推進員の発足、精神障害者へのかわり、ウォークラリー大会や健康かるた制作などさまざまです。今は色々なことにチャレンジさせてもらって本当に良かったと思います。

生涯学習情報コーナー

No.16

私の生涯学習・生涯スポーツ

油絵クラブに参加して

目黒 京一



早いもので、ここ山古志村の住民となり二度目の春を迎えました。今年も村の油絵クラブに参加させていただきます。皆さんとの楽しい交流を通して、絵を描いていきたいと考えています。

最後に、このように平穩のうち私に私が油絵を描いていられるのもここ山古志に事件事故が少なく平和であればこそであり、村民の皆さんには、心から感謝しています。駐在所の近くに来たときは、気軽に立ち寄ってください。



そして四年目は「自分らしく、あせらず、マイペースで住民と接したい」という願いを基に訪問と事業を通してより地域に入って、住民と接しながらかかっている問題を一緒に考えていけたらいいと思います。